

# 平成27年度 事業報告書

自 平成27年4月1日  
至 平成28年3月31日

東京都中央区築地3丁目11番6号  
(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

# 平成27年度事業報告

## I. 会員登録状況

### 1. ライセンス会員数 (平成28年3月31日・最終)

WEB申請が定着し、約92%がWEBによる申請。

		13年度	14年度	15年度	15年度計画	前年比	計画比
会員数	競技会員	15,062	14,680	15,086	14,800	103%	102%
	エンジョイ会員	2,656	2,374	3,009	3,000	127%	100%

### 2. 各種目のライセンス発行枚数

ロードレース **5,743枚** (昨年5,567枚) 前年対比 **103%**

種目	区分	12年度	13年度	14年度	15年度	前年比
ロードレース	国際	836	828	837	839	100%
	国内	3,525	3,405	3,327	3,471	104%
	フルツマン	1,514	1,468	1,351	1,390	103%
	ジュニア	56	57	52	43	83%
	計	5,931	5,758	5,567	5,743	103%

#### ① モトクロス **1,723枚** (昨年1,778枚) 前年対比 **97%**

種目	区分	12年度	13年度	14年度	15年度	前年比
モトクロス	国際A級	163	163	165	161	98%
	国際B級	458	417	387	366	95%
	国内A級	302	290	266	252	95%
	国内B級	624	572	552	537	97%
	ジュニア	401	383	371	375	101%
	PC	39	46	37	32	86%
	計	1,987	1,871	1,778	1,723	97%

#### ② トライアル **1,450枚** (昨年1,434枚) 前年対比 **101%**

種目	区分	12年度	13年度	14年度	15年度	前年比
トライアル	国際A級	131	129	143	146	102%
	国際B級	366	366	365	373	102%
	国内A級	414	389	370	345	93%
	国内B級	547	576	558	577	105%
	ジュニア	6	7	5	9	180%
	計	1,464	1,467	1,434	1,450	101%

③ スノーモビル 159 枚（前年 177 枚）前年対比 90%

種目	区分	12 年度	13 年度	14 年度	15 年度	前年比
スノーモビル	A 級	83	82	75	79	105%
	B 級	113	102	86	68	79%
	ジュニア	21	18	16	12	75%
	計	217	202	177	159	90%

④ スーパーモト 325 枚（前年 343 枚）前年対比 95%

種目	区分	12 年度	13 年度	14 年度	15 年度	前年比
スーパーモト	A 級	249	217	213	213	100%
	B 級	126	127	130	112	86%
	計	375	344	343	325	95%

⑤ インデューロ 396 枚（前年 295 枚）前年対比 134%

種目	区分	12 年度	13 年度	14 年度	15 年度	前年比
インデューロ	国際	76	82	97	132	136%
	国内	189	136	198	264	133%
	計	265	218	295	396	134%

⑥ ピットクルー 7,820 枚（前年 7,444 枚）前年対比 105%

種目	12 年度	13 年度	14 年度	15 年度	前年比
ピットクルー	7,576	7,361	7,444	7,820	105%

⑦ 競技役員 4,380 枚（前年 4,455 枚）前年対比 98%

種目	12 年度	13 年度	14 年度	15 年度	前年比
役員・講師	5,179	4,813	4,455	4,380	98%

4. 賛助会員

	H25年度	H26年度	H27年度
法人会員	57件 (57口)	59件 (60口)	48件 (52口)
個人会員	1件 (1口)	1件 (1口)	1件 (1口)

5. 年間プレス登録者

	ランク	H25 年度	H26 年度	H27 年度	前年比
プレス	A	76	73	70	96%
	B	16	12	18	150%
	合計	92	85	88	104%

## Ⅱ. モーターサイクルスポーツ事業

### 1) MFJ 公認・承認競技会（講習会含む）の都道府県別申請状況

地区	公認									承認								合計		
	RD	MX	TR	SN	SM	ED	講習会	走行会	公認計	RD	ミニバイク	MX	TR	SN	ED	行事	承認計	申請数	中止計	開催数
北海道	3	8	8	3	0	7	17	1	47	1	2	0	0	0	0	0	3	50	1	49
東北	5	11	15	0	2	3	23	2	61	1	7	0	6	0	6	0	20	82	3	79
関東	13	17	24	2	2	2	57	4	121	9	1	0	11	0	4	0	25	146	12	134
中部	9	9	15	0	2	1	21	1	58	5	4	0	9	0	1	0	19	77	0	77
近畿	0	8	11	0	2	1	10	3	35	0	0	1	1	0	6	0	8	43	3	40
中国	7	9	16	0	3	4	18	0	57	2	3	0	2	0	3	0	10	67	5	62
四国	0	5	8	0	0	0	5	0	18	0	0	0	0	0	1	0	1	19	0	19
九州	7	8	9	0	2	8	20	0	54	6	0	0	1	0	0	0	7	61	0	61
合計	44	75	106	5	13	26	171	11	451	24	17	1	30	0	21	0	93	545	24	521
前年比	102%	89%	104%	100%	87%	144%	128%	48%	106%	114%	94%	25%	120%	0%	350%	0%	121%	109%	141%	108%
2014	43	84	102	5	15	18	134	23	424	21	18	4	25	0	6	1	77	501	17	484
2013	45	89	104	5	19	14	131	16	423	16	27	15	25	1	10	1	95	518	19	499
2012	43	93	106	6	23	15	125	13	436	18	33	15	22	1	13	5	109	545	14	531

競技会申請数は公認競技会 451 大会（前年比 106%）承認競技会 93 大会（前年比 121%）合計 545 大会で申請数は前年比 108%、承認競技会がエンジョイ会員の安価設定で増加。

## 2) 競技会開催状況

### (1) ロードレース

#### ① 世界選手権/特別競技会

（世界選手権は文科省・観光庁後援事業）

格式	開催日	大会名	観客数				前年比
			12年	13年	14年	15年	
世界選手権	7月23日～26日	鈴鹿8時間耐久ロードレース	105,000	109,000	111,000	121,000	109%
	10月9日～11日	MotoGP 日本グランプリ	59,438	61,097	70,271	85,403	122%
アジア選手権	7月4日～5日	鈴鹿大会	開催なし	19,000	18,100	12,000	66%

## ② 全日本選手権

文部科学大臣杯は中須賀選手(JSB1000 ファン°木)が4年連続獲得。全戦文科省・観光庁後援事業・全戦FIM公認国際競技会

	開催日	会場	観客数	JSB	GP2	ST600	GP3	計
第1戦	4月19日	鈴鹿2&4	51,000	56				56
第2戦	4月26日	オートポリス	16,562	28	21	28	29	106
第3戦	5月31日	もてぎ	11,800	46	20	28	32	126
第4戦	6月28日	SUGO	4,700	22	25	27	29	103
第5戦	8月23日	もてぎ2&4	26,000		23			23
第6戦	9月13日	AP2&4	21,990	29				29
第7戦	9月27日	筑波	中止					
第8戦	10月18日	岡山国際	8,200	36	22	40	28	126
第9戦	11月1日	MFJ-GP鈴鹿	23,500	28	21	28	29	106
		合計	163,752	245	132	151	147	675
		1大会平均	20,469	35	22	30	29	84
		前年	19,824	34	25	37	35	94
		前年対比	103%	103%	88%	82%	84%	90%

## ③ 地方選手権 (ナショナル・インター) ・承認ロード競技会

地区	公認競技会				承認競技会			
	大会数	参加台数			大会数	参加人数		
		総台数	平均	前年比		総人数	平均	前年比
十勝	3	32	11	87%	4	191	48	104%
SUGO	4	163	41	91%	6	484	81	134%
筑波	3	160	53	121%	9	1,451	161	86%
もてぎ	4	307	77	118%	8	1,029	129	91%
鈴鹿	5	418	84	89%	11	1,453	132	99%
岡山	5	135	27	103%	10	789	79	134%
九州	5	147	29	91%	11	431	39	73%
2015 合計	29	1,362	47		59	5,828	99	88%
2014 合計	33	1,548	45		53	5,911	112	
前年比	88%	88%	104%		104%	98%	114%	

支部	承認ミニバイク			
	大会数	参加人数		
		総人数	平均	前年比
北海道	2	88	44	73%
東北	8	410	51	95%
関東	1	726	726	178%
中部	4	121	30	104%
中国	5	274	55	114%
2015 合計	20	1,619	81	
2014 合計	27	2,012	75	
前年比	74%	80%	108%	

## (2) モトクロス

### ① 全日本選手権

(最終戦は文科省・観光庁後援事業)

場所	開催日	観客数	台数	国際B級	国際A級		LMX	CX	J85	他
				Open	IA-1	IA-2				
九州	4月5日	4,900	218	68	20	42	41	14	33	
関東	4月19日	9,200	254	73	21	43	43	11	47	16
中国	5月17日	4,165	257	80	19	44	36	30	48	
SUGO	6月7日	3,700	351	79	20	43	44	10	46	109
近畿(神戸)	7月4日	12,000	300	86	21	48	43	30	47	25
東北	7月19日	2,500	207	64	22	43	39	12	27	
SUGO	8月30日	2,700	222	68	19	40	40	14	41	
近畿(名阪)	9月13日	5,960	257	72	21	46	37	27	54	
関東	10月4日	8,200	251	60	19	48	41	14	44	25
MFJGP	10月25日	7,300	275	77	23	51	50	19	55	
合計		60,625	2,592	727	205	448	414	181	442	175
平均		6,063	259	73	21	45	41	18	44	
前年		4,663	344	79	23	46	48	19	45	
対比		130%	75%	92%	90%	98%	86%	95%	98%	

※参加台数の大幅減少は今年から国際B級がオープンクラス2ヒート制となったことに起因。(昨年までIB2/IBオープン2クラス) 国際Bの参加人数で比較すると前年比は92%。

### ② モトクロス全国大会 (文科省・観光庁後援事業)

開催日：2015年11月8日(日) 総参加台数161台(昨年228台)

開催場所：宮城県・スポーツランドSUGO

※本年よりNA/NBはオープン1クラスの2ヒート制としたことから台数は減少しているが人数は横ばい

	NA2	NAOPEN	NB2	NBOPEN	J85	J65	チャイルド 50	Ladies	計
2015年	—	33	—	30	49	34	15	—	161
2014年	33	33	31	30	56	28	17	—	228
2013年	32	32	34	34	48	33	21	14	248

③ 地方競技会（ライセンス数は2015年度3月末・最終）

地区	年度	2015 地方選手権モトクロス			
		ライセンス	大会数	総参加	平均台数
北海道	2015年	219	8	1,020	128
	2014年	215	8	1,537	192
	前年比	102%	100%	66%	66%
東北	2015年	206	7	1,184	169
	2014年	202	8	1,300	163
	前年比	102%	88%	91%	104%
関東	2015年	454	9	1,137	126
	2014年	476	7	1,379	197
	前年比	95%	129%	82%	64%
中部	2015年	266	9	746	83
	2014年	284	10	1,159	116
	前年比	94%	90%	64%	71%
近畿	2015年	203	7	674	96
	2014年	200	8	826	118
	前年比	102%	88%	82%	82%
中国	2015年	148	8	719	90
	2014年	157	8	818	102
	前年比	94%	100%	88%	88%
四国	2015年	74	5	388	78
	2014年	82	8	474	59
	前年比	90%	63%	82%	132%
九州	2015年	153	6	360	60
	2014年	162	6	401	67
	前年比	94%	100%	90%	90%
全体	2015年	1,723	59	6,228	106
	2014年	1,778	62	7,894	127
	2013年	1,871	63	8,529	135
	前年比	97%	95%	79%	83%

(3) トライアル

① 世界選手権

(文科省・観光庁後援事業)

格式	開催日	大会名					
			12年	13年	14年	15年	前年比
世界選手権	4月25/26日	トライアル世界選手権 日本 GP	11,500	15,000	16,000	18,000	113%

## ② 全日本選手権

	開催日	場所	観客数	台数	IB	IA	IA-S	併催
第1戦	3月8日	関東	2,500	128	69	45	14	
第2戦	4月19日	近畿	1,850	158	99	45	14	
第3戦	5月17日	九州	1,380	100	47	40	13	
第4戦	7月19日	北海道	700	85	38	30	13	4
第5戦	9月6日	中国	332	135	60	48	13	6
第6戦	10月11日	中部	2,400	129	67	44	13	5
第7戦	11月1日	東北	950	124	67	39	14	4
合計			10,112	859	447	291	94	19
平均			1,445	123	64	42	13	3
前年対比			98%	105%	98%	107%	134%	39%

## ③ 地方選手権 (ライセンス数は2015年度3月末・最終)

地区	年度	2015年			
		ライセンス	大会数	総参加	平均台数
北海道	2015年	47	7	202	29
	2014年	47	7	200	29
	前年比	100%	100%	101%	100%
東北	2015年	135	8	538	67
	2014年	133	8	696	87
	前年比	102%	100%	77%	77%
関東	2015年	407	9	710	79
	2014年	420	7	638	91
	前年比	97%	129%	111%	87%
中部	2015年	243	9	769	85
	2014年	255	9	816	91
	前年比	95%	100%	94%	93%
近畿	2015年	239	8	607	76
	2014年	230	8	672	84
	前年比	104%	100%	90%	90%
中国	2015年	152	10	582	58
	2014年	145	10	550	55
	前年比	105%	100%	106%	105%
四国	2015年	68	8	262	33
	2014年	67	8	287	36
	前年比	101%	100%	91%	92%
九州	2015年	159	8	546	68
	2014年	137	7	430	61
	前年比	116%	114%	127%	111%
全体	2015年	1,450	67	4,216	63
	2014年	1,434	64	4,289	67
	2013年	1,467	66	4,388	66
	前年比	101%	105%	98%	94%



#### ④ 第27回トライアルGC

開催日：11月8日 場所：広島県三次市・灰塚ダムトライアルパーク

参加：GCクラス48名、オーバー50 4名、地区チーム対抗3チーム 15名 計67名

#### (4) スノーモビル

年度	開催地	開催日	観客数	台数	B	SC	A	J
第1戦	新潟	1月25日	1,300	112	50	21	35	6
第2戦	長野	1月31日	250	113	54	22	31	6
第3戦	真狩	2月8日	300	112	47	22	35	8
第4戦	土別	2月15日	500	110	46	25	32	7
第5戦	真狩	3月3日	500	118	52	24	33	9
年間合計			2,850	565	249	114	166	36
1大会平均			570	113	50	23	33	7
前年平均			625	120	60	23	31	7
前年対比			91%	94%	83%	99%	107%	103%

#### (5) スーパーモト

① 全日本選手権 ※今年からスーパーモトに種目名変更

	開催日	場所	観客数	台数	S1 PRO	S1 OPEN	S2	併催エリア	承認
第1戦	4月28日	美浜	800	83	18	28	14	21	2
第2戦	5月24日	HSR	300	68	9	14	16	10	19
第3戦	6月21日	エビス	200	63	11	20	10	22	
第4戦	8月2日	タカタ	400	53	15	22	16		
第5戦	8月23日	SUGO	500	73	14	22	10	27	
第6戦	9月20日	琵琶湖	500	76	17	21	17	21	
第7戦	10月11日	名阪	400	77	16	27	13	20	1
第8戦	11月8日	茂原	400	83	16	25	12	30	
合計			3,500	576	116	179	108	151	22
1大会平均			438	72	15	22	14	22	11
前年平均			519	74	15	22	14	23	8
前年対比			84%	97%	97%	102%	96%	94%	138%

② エリア選手権を下記地区で開催。

エリア	大会数	総台数	平均	前年比
東日本	4	115	29	112%
中日本	4	85	21	101%
西日本	4	80	20	88%
合計	12	280	23	
2014年	15	277	18	
前年対比	76%	101%	127%	

## (6) インデューロ

	開催日	場所	合計台数	全日本				承認
				インターナショナル		ナショナル		
				A	B	N	W	
第1戦	5月10日	テジャス<広島>	96	13	16	41	3	23
第2戦	7月12日	ブラザ坂下<近畿>	116	14	20	43	3	36
第3戦	9月18日-19日	日高<北海道>	147	16	23	47	5	56
第4戦	11月21日-22日	SUGO<宮城>	156	19	27	47	5	58
		合計	515	62	86	178	16	173
		1大会平均	129	16	22	45	4	43
		前年平均	112	14	15	34	5	44
		前年対比	115%	111%	143%	131%	80%	98%

## 3) 代表選手派遣事業

### (1) モトクロス・オブ・ナーションズ (国別対抗世界選手権)

モトクロス委員会にて選手の選抜並びに代表チームの認定を行った。

- ・ 開催日：9月26日～27日 開催国：ERNEE (フランス)
- ・ 代表チーム (MXGP：山本鯨選手、MX2：富田俊樹選手、MXOpen：小島庸平選手)
- ・ 順位：36か国中20位 (Bファイナル1位) ⇒ 総合結果 20位

### (2) トライアル・デ・ナシオン (国別対抗世界選手権)

・トライアル委員会にて選手の選抜を行い男子チームが参戦。

開催日：9月19日～20日 開催国：スペイン・タラゴナ

日本代表チーム ((藤波貴久選手、小川友幸選手、小川毅士選手、柴田 暁選手)

順位：21か国中3位

### (3) アジア・カップ・オブ・ロードレーシング (アジア国別対抗戦)

	車両	開催日	開催国	参加国	台数	順位
第1戦	CBR150R	8月22・23日	日本	6	25	6位
第2戦	R15	10月31/11月1日	タイ	7	15	1位
第3戦	HPM250	11月15日	台湾	6	15	2位

#### ●最終順位

1位スリランカ、2位日本、3位台湾、4位タイ、5位インド、6位フィリピン、7位インドネシア、8位ネパール

## 4) 全日本選手権ランキング表彰式典

全日本ランキング表彰式典を2015年12月19日(土)に東京・大手町の日経ホールにて開催。

### Ⅲ. 補助金事業

#### 1. (公財) JKAオートレース

国内競技規則書(12月発行平成28年版) 交付申請額:7,019,000円  
 交付内定額:2,033,000円  
 交付額: 2,033,000円

#### 2. 独立行政法人日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成事業」

平成27年度ドーピングコントロール 交付申請額 3,679,000円  
 交付内定額 3,311,000円  
 交付額 2,053,000円

### Ⅳ. モーターサイクルスポーツの普及振興

#### 1) 普及強化事業

##### ① MFJロードレースアカデミー in Motegi (10期目)

主催:(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会

会場:栃木県・ツインリンクもてぎ 期間:2015年4月~9月

内容:・会期は年間6回(10日間)

・年間参加(18歳以下)=9名(昨年6名)

・スポット参加(年齢問わず):104名(昨年97名)。

インストラクター:坂田和人、大久保光、小林龍太、亀谷長純、宇井陽一、長島哲太、武田雄一

協賛企業:日本特殊陶業、ブリヂストン、アライヘルメット、本田技研工業

##### ② MFJトライアルアカデミー (9期目)

・主催:(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会

・会場:茨城県・真壁トライアルランド(9回)、栃木県・ツインリンクもてぎ(1回)

・対象:アカデミー1クラス...初心者(若手)、シニア、女性を対象とした育成プログラム。

アカデミー2クラス...NB上級~IB初級レベルを対象としたレベルアッププログラム

・受講者:年間12名(昨年13名)

※本年度もスポット参加受付...のべ16名が参加

・期間:2015年9月26日~2016年1月31日まで(計10回)

・車両:各自持ち込み(レンタル制度なし)

・協賛企業:日本特殊陶業、河和田屋印刷、アライヘルメット(年間参加者へ、TR用ヘルメットを支給)

住友ゴム工業

##### ③ MFJレディースロードレース・レディーススキルアップ講習会 (9年目)

ツインリンクもてぎにてレース3回、講習会3回開催。

レース参加 状況	第1回 5月31日	第2回 7月5日	第3回 11月8日	合計	平均
2015年	18	17	20	55	18
2014年	20	22	24	66	22
2013年	19	19	17	55	18
前年比	90%	77%	83%	83%	82%

主催:レース...ツインリンクもてぎ

講習会・・・(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会  
会場：栃木県・ツインリンクもてぎ  
参加資格：レース・・・ロードレースライセンス所持者  
講習会・・・ライセンスは所持問わず いずれも女性限定  
協賛企業：アライヘルメット、アールエスタイチ、日本特殊陶業、住友ゴム工業、スズキビジネス、クシタニ、  
大源製薬、三幸産業、ホンダ開発、48TomizawaShoya、KEHOEJAPON

#### ④ アジア国別対抗ロードレース

ツインリンクもてぎにて開催。

開催月日：2015年8月22日(土)23日(日)

開催場所：ツインリンクもてぎ 全日本ロードレース第5戦併催

使用車両：CBR150R

主催：(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会 協力：ツインリンクもてぎ

参加国：台湾(2)・日本(4)・インド(2)・フィリピン(2)・スリランカ(2)

タイ(2) <計6カ国>12名

13名の一般参加があり、計25名でのレースとなった。

#### ⑤ MFJ 親子バイク祭り

以下に企画を変更し実施予定。

- ・平成28年3月東京モーターサイクルショーでキッズバイク体験試乗を実施、延べ249名乗車
  - ・キッズバイク体験からポケバイ/ミニバイク誘引のガイドブック作成、大阪/東京MCショーで配布
- ※平成28年4月全日本筑波にて体験試乗、9月モトチャンプ全国大会に親子バイククラスを併催予定

#### ⑥ MFJ 東北復興応援ツーリング2015

東北復興の応援を目的とする標記ツーリングイベントを試験的に開催した。

- 目的：東北の被災した東北沿岸部を訪れ、人と触れ合い消費行動をすることで復興の一助となることを目的とする。

- キックオフセレモニー

開催日：10月17日(土) ※ツーリング期間は11月30日まで

開催場所：宮城県・石巻市・サンファンパーク

主催：(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会

公認：国際モーターサイクルズム連盟(FIM) FIM Ride Green 連携事業

後援：観光庁・復興庁宮城復興局・宮城県・福島県・岩手県・青森県・石巻市・日本自動車工業会

日本二輪車普及安全協会・全国オートバイ協同組合連合会・全国二輪車用品連合会 等

キックオフセレモニー参加：100名(登録141名)

## 2) 安全・環境・健康に関する活動

- レスキュー講習会

モータースポーツライフセービング機構(LSO)の加盟を継続。

## ●ドーピングコントロール

ドーピングコントロールを下記のように実施し、違反者は無かった。

種目	格式	実施日	場所	区分	検査数
ロードレース	全日本	5月31日	TRM	MFJ事業	4
モトクロス	全日本	9月13日	名阪	MFJ事業	4
トライアル	全日本	11月1日	SUGO	MFJ事業	4

## ●サーキットアドバイザーへの補助

各サーキットのスクール・イベント時安全面の指導を行うサーキットアドバイザー制度促進の為、補助を行った。

## ●インストラクターセミナー開催

企画を変更し次年度開催予定

## ●セーフティオフィサー派遣

本年度より全日本ロードレース選手権の運営均一化、安全向上を目的に全戦をラウンドするセーフティオフィサー2名を派遣

- ・ 競技監督とレースディレクションを構成し、コースの状況、運営について協議し執行
- ・ ライダーの危険行為やマナー違反等にペナルティポイントを与える。

## ●メディカル部会活動

- ・ 脳震盪判断基準と発生時のプロトコルを作成し、各大会主催者に配布
- ・ 全日本ロードレースのライダーブリーフィングにて脳震盪への認識を高める為説明を実施
- ・ 全日本ロードレースにて負傷者申し送り制度を実施

## ●観客安全対策

- ・ モトクロス委員会の監修で「モトクロス競技安全対策の指針」を作成し、ホームページに掲載。さらに、「立入禁止」の表示データを作成し、ホームページに掲載。主催者や施設がダウンロードして使用できるよう提供。
- ・ 全日本モトクロス選手権用に観客エリア区分用ネット各1km分無償提供
- ・ エンデューロ主催者にコーステープの安価供給
- ・ スノーモビル観客安全対策マニュアルを作成主催者に広く徹底

## ●安全装備の研究

- ・ 競技用装備部会にてヘルメットとレーシングスーツの公認基準の改定作業
- ・ メディカル部会と連携しヘルメット外部衝撃と内部衝撃の相関性を研究

## 3) 広報活動

### ①オフィシャルホームページ

- 全日本ロードレースおよび全日本モトクロスオフィシャルファンサイトとの情報連携。
- 全日本トライアルのライダー紹介、全日本スーパーモト、全日本エンデューロプロモーションサイトとの相互リンクによる情報提供。
- ネットワークショップ検索システムによる地域サポート窓口店舗情報提供。
- 競技会カレンダー検索を毎週更新、主要競技の結果速報・レポート・写真を掲載。
- 平成27年4月1日より平成28年1月31日までに、2,176,395PV/月平均217,339PV（昨年262,719PV）のアクセスを得た。
- Facebookにより迅速な情報発信

### ② 競技規則書を26000冊作成し競技会員並びに関係者に配布した。

### ③ メールでの情報発信をライセンス会員向けに月1回配信。

### ④ H28年3月の大阪/東京モーターサイクルショーでMFJブースを設けPR活動を実施予定

- ⑤ フリーペーパー「ライディングリミテッド」を年間 1 回発行。17,000 部作成し、7 月に開催される各種目の日本選手権シリーズをはじめとする主要競技会会場にて観客向けに配布し、後半戦の集客増員を図った。
- ⑥ ポスターカレンダー（加盟団体ごとの地域イベントを中心とした内容）作成、ネットワークショップを中心に広く配布
- ⑦ 全日本ロードレース選手権を中心にシリーズ告知等広報宣伝活動を展開した。
  - ・ 無料 BS 放送（BS12）で毎週土曜午後 7 時の帯番組となり、全日本ロードレース並びにモトクロスを全戦放映。（レース 5 日後土曜放映・レースの無い週はレポート）
  - ・ 全日本ロードレース選手権全戦を動画配信サイト USTREAM にてライブ配信、また、BS 1 2 放映用の素材を現地で簡易編集したものをレース 1 時間後に動画配信する MFJ ライブチャンネルを開始し露出を拡大した。アジアを中心に海外からもアクセスあり。
  - ・ ファン会員を募集し、257 名が登録（昨年 231 名）
  - ・ H28 年 3 月東京モーターサイクルショーにて次年度全日本選手権 P R の為、モーターサイクルスポーツ P R コーナーを設け大画面でのレース映像とレーシングマシン展示、中央ステージでのライダートークショーを開催、
- ⑧ 専用ホームページ「Superbike.jp」にて事前告知を中心に展開するとともに一般向け並びにプレス向けのメルマガの配信を行った。※ 3 月～11 月の訪問者数 1,839,973 件（昨年 1,749,254 件 3 月～11 月）
- ⑨ 広報部会
 

毎月定期的に会合を行い以下実施。

  - ・ 主要競技会毎に 1 か月前（取材依頼）当該週の 2 回メディアへメルマガ配信
  - ・ 8 月 20 日に都内レストランで東北復興応援ツーリング記者発表開催
  - ・ 10 月 31 日に鈴鹿サーキットにて来年開始の新クラス「JP250」記者発表会開催
  - ・ 11 月 5 日 MFJ 本部にて在京一般バイク誌編集長を集め「JP250」記者発表開催
  - ・ 12 月 16 日に中須賀選手文部科学大臣杯 4 連覇の記者懇談会開催、その後文部科学省にて馳文部科学大臣を訪問
  - ・ H28 年 3 月 9 日バイクメディアへ JP250PR の為、250 メディア合同試乗会をツインリンクもてぎで開催
  - ・ H28 年 3 月 4 日アジアアレントカップ記者会見開催
  - ・ H28 年 3 月 17 日女性レース PR の為、都内レストランで記者懇談会開催

## V. 地方組織

---

### 1. 加盟団体運営

- ・ 今期より業務委託費配分方法を変更
- ・ 各加盟団体理事会（6 月～7 月）に日本二普協担当と供に出席し進捗確認
- ・ 11 月 19 日に加盟団体会議を開催し平成 28 年度に向けた方針を説明

### 2. ネットワークショップ

ネットワークショップ加盟は 83 店舗（昨年 104 店）と減少

### 3. 加盟団体ごとの活動状況は以下の通り (両年度 3 月末締め・最終)

地区	会員数	大会数		全日本選手権						N ショップ	
		公認	承認	RD	MX	TR	SN	SM	ED		
北海道	928	47	3	0	0	1	3		1	1	
東北	1,458	61	20	1	4	1	0	2	1	9	
関東	6,737	121	25	3	2	1	2	1		26	
中部	2,579	58	19	2	0	1	0	1		10	
近畿	3,005	35	8	0	2	1	0	2	1	19	
中国	1,180	57	10	1	1	1	0	1	1	8	
四国	448	18	1	0	0	0	0			3	
九州	1,499	54	7	2	1	1	0	1		7	
全体	合計	<b>17,834</b>	<b>451</b>	<b>93</b>	<b>9</b>	<b>10</b>	<b>7</b>	<b>5</b>	<b>8</b>	<b>4</b>	<b>83</b>
	前年同月	16,855	424	77	8	9	7	5	8	4	104
	前年比	106%	106%	121%	113%	111%	100%	100%	100%	100%	80%

## VI. 国際交流

世界における MFJ の役割として、海外選手の受け入れ、選手並びに日本代表チーム、事務局員を海外に派遣し、国際交流を促進し、MFJ 並びにアジア地域における人材育成を通じて、モーターサイクリススポーツの活性化を推進した。

- 4 月 アジアロードレース第 1 戦マレーシア大会に事務局員を派遣
- 4 月 F I M トライアル役員セミナーを東京で開催 参加者 9 名
- 4 月 F I M トライアル世界選手権もてぎ大会
- 6 月 D O R N A によるスポーツランド S U G O 視察立ち会い
- 6 月 インドネシア K Y T ヘルメットの S N E L L 検査立ち会い ( A R A I 、 S H O E I )
- 7 月 アジアロードレース第 3 戦鈴鹿大会
- 7 月 F I M 世界耐久選手権鈴鹿 8 時間耐久
- 8 月 世界スーパーバイク選手権タイ大会併催アジアアレントカップに事務局員を派遣
- 8 月 アジアロードレースプロモーターによるスポーツランド S U G O 視察立ち会い
- 8 月 アジア国別対抗日本大会開催
- 8 月 アジアロードレース第 4 戦タイ大会に事務局員を派遣
- 9 月 全日本モトクロス近畿大会への海外 (タイ) ライダーのアテンドとして事務局員を派遣
- 10 月 世界ロードレース日本グランプリもてぎ大会
- 10 月 F I M 車両公認インスペクション (ヤマハ) 立ち会い
- 10 月 アジア国別対抗ロードレース第 2 戦大会 日本代表チーム及び事務局員の派遣
- 11 月 M F J レディースロードレース最終戦海外ライダー (台湾 2 名、ノルウェー 1 名) アテンドとして事務局員を派遣
- 11 月 アジア国別対抗ロードレース第 3 戦台湾大会に日本代表チームと事務局員を派遣
- 11 月 F I M ヘルズ総会/表彰式に事務局員を派遣
- 12 月 アジアロードレース第 6 戦タイ大会に事務局員を派遣
- 12 月 F I M 世界選手権トライアルオーガナイザーミーティングに事務局員を派遣
- 1 月 F I M アジア総会へ会長・事務局員を派遣
- 2 月 F I M ジュネーブ会議に事務局員を派遣

- 2月 FIMコース査察（鈴鹿）立ち合い  
 2月 FIMロードレースセミナー開催（鈴鹿）25名受講

## Ⅶ. スポーツ安全保険等

1. スポーツ安全協会の『スポーツ安全保険』登録業務並びに競技会での受傷者への手続きを行った。

種目	区分	事故通知			保険請求		
		A1	C	計	A1	C	計
ロードレース	国際		22	22		20	20
	国内		35	35		27	27
	フレッシュマン		17	17		13	13
	ジュニア						
	計		74	74		60	60
モトクロス	国際A級		5	5		4	4
	国際B級		27	27		22	22
	国内A級	2	8	10		5	5
	国内B級	1	17	18	2	19	21
	ジュニア	13		13	13		13
	PC						
	計	16	57	73	15	50	65
トライアル	国際A級		6	6		8	8
	国際B級		4	4		4	4
	国内A級		1	1		2	2
	国内B級		5	5		1	1
	ジュニア						
	計		16	16		15	15
スノーモビル	SA		2	2		4	4
	SB						
	SJ						
	計		2	2		4	4
エンデューロ	国際		4	4		4	4
	国内		8	8		6	6
	計		12	12		10	10
モタード	A		11	11		8	8
	B						
	計		11	11		6	6
ピットクルー			1	1		1	1
エンジョイ			16	16		15	15
競技役員							
2015年度 合計		16	189	205	15	163	178
2014年度		14	160	174	11	145	156
前年比（四捨五入）		114%	118%	118%	136%	112%	114%

※A1＝中学生以下 平成27年4月1日～平成28年3月末



#### Ⅳ. 諸会議の開催 (平成27年4月～平成28年3月)

諸会議						
4月	13日	技術委員会	10月	1日	広報部会	
	16日	エンデューロ委員会		9日	タイヤ入札委員会	
	23日	広報部会		13日	J4M	
	28日	タイヤ部会		22日	広報部会	
5月	12日	ロードレース委員会(普及)	11月	27日	競技用装備部会	
	13日	競技用装備部会		11日	エンデューロ委員会	
	20日	広報部会		12日	モトクロス委員会	
	26日	技術委員会		13日	トライアル作業部会	
6月	29日	運営財務委員会	12月	16日	ロードレース委員会	
	4日	理事会		17日	スーパーモト委員会	
	16日	DORA/日本メーカーミーティング		19日	加盟団体会議	
7月	23日	評議員会	1月	20日	トライアル委員会	
	9日	広報部会		22日	メディカル部会	
	10日	技術委員会		26日	広報部会	
	15日	競技用装備部会		27日	技術委員会	
	16日	モトクロス委員会		2月	9日	競技用装備部会
	21日	タイヤ部会			10日	運営財務委員会
	22日	スーパーモト委員会			15日	中央スポーツ委員会
	29日	ロードレース委員会			18日	理事会
8月	30日	エンデューロ委員会	2月	12日	広報部会	
	4日	中央スポーツ委員会		21日	広報部会	
	5日	広報部会		22日	ワンメイクタイヤ会議	
	6日	スノーモビル委員会		28日	技術委員会	
	26日	タイヤ入札委員会		3月	4日	トライアル委員会
27日	加盟団体実務者会議	8日	ロードレース委員会(全日本)			
9月	2日	広報部会	10日		セーフティ委員会	
	17日	技術委員会	18日		広報部会	
	18日	スノーモビル作業部会	29日	競技用装備部会		
	28日	競技用装備作業部会	2日	広報部会		
			3日	運営財務委員会		
			4日	技術委員会		
			10日	理事会		
			22日	評議員会		

#### Ⅸ. その他の事業

1. 競技会申請のWEB化
  - ・主催者の利便性と事務効率化を目的に競技会申請をWEB上で行うシステムを今期より稼働。
  - ・競技会報告をWEB上で行うシステムを開発、平成28年3月より稼働予定(ロードレース以外)
2. レース以外のモーターサイクル愛好者への訴求
  - ・スポーツライディングスクールを検討中
  - ・レース以外のユーザー会員制度、会員へのメリット提供についてコンサルティング会社に調査、検討を依頼

### 3. ロードレースセミナーの開催

ロードレース競技を円滑に運営する為、全国の公認サーキットより競技監督・車検長等主要オフィシャルを集めセミナーを平成 28 年度 2 月 28 日に開催（受講者 70 名）

以上

#### ■平成 27 年度事業報告 附属明細書

平成 27 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 28 年 6 月 9 日  
一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会